

桜の木



健康で心ゆたかな子 深く考えくふうして学ぶ子 進んではたらく子

6月号 杉並区立杉並第六小学校 <http://www.suginami-school.ed.jp/sugisshou/>

緩やかな「かかわり」の中で

校長 守田 聰美

過日は、個人面談にご協力いただきありがとうございました。今後も気軽にご相談ください。お子さんの様子をやり取りしながら、ご家庭としつかり連携して参ります。

去る5月18日、第2回かしの木フェスが開催されました。色とりどりのかき氷を両手で運ぶ子供たちの笑顔がはじけ、来場者300名をこえる賑やかな会になりました。昨年度立ち上げにご尽力いただいた方々を含め、阿佐中ボランティアの子供たち、同窓会、かしの木会、PTAの皆様のご尽力の賜物です。改めて心より感謝申し上げます。

中学生が回す長縄を跳ぶ小学生、野球、サッカーの体験ブース、バーベキューのかき氷を手渡す度に交わされる子供たちとのやり取り、かしの木の周りに遠足のお昼のように集まるご家族とご家族との会話、焼きそばづくりをベテランが若手のお父さんに伝授する姿、そして保護者の方々とお話ししたり、子供と一緒に遊んだりする教員の姿、子供と子供、子供と大人、大人と大人、食を介して、「かかわり」を深め、たくさんの「つながり」が生まれました。

多様性の時代に、異なる価値観を互いに尊重し協働することが求められています。杉六小では、異年齢の活動に力を入れています。「かかわり」や「つながり」を大切にしながら「共に生きる子供」の育成を目指しています。

阿佐ヶ谷中学校との小中一貫教育は10年目を迎えていました。阿佐ヶ谷中学校のプレスクールに初めて参加した6年生の感想には『阿佐ヶ谷中学校の人たちにクラブ紹介や行事などを教えてもらいました。クラブ紹介の時は阿佐ヶ谷中学校の人たちがキラキラかがやいていたので私もキラキラかがやけるように頑張っていきたいと思います。阿佐ヶ谷中学校の行事を想像するだけで楽しい気持ちになりました。とても楽

しかったです。』とありました。今年度も充実した活動を続けて参ります。この他近隣幼稚園や阿佐ヶ谷東保育園、馬橋保育園等、杉並第七小学校との校種間交流の様子は今後も「桜の木」でもお伝えして参ります。

また、弓ヶ浜移動教室や遠足、運動会や音楽会等の学校行事をはじめ、児童会活動、委員会活動やクラブ活動、たてわり班活動等の特別活動では、2学年以上の複数学年で活動しています。子供たちは主体的な活動を通して異学年の子供と「かかわり」を深めています。高学年のリーダーシップはもちろんのこと、1~4年生が参加した遠足では、各グループのリーダーを4年生が務め、遊びの企画やグループの取りまとめをしました。3年生が1年生をサポートしたり、2年生が進んで1年生の手本を示したり、頼もしく心温まる「かかわり」がたくさん見られました。高学年の姿をモデルにし、リーダーをやり遂げた4年生の誇らしげな笑顔が印象的でした。入学式の日から1年生のサポートをしている6年生は、リーディング・バディー(ペア読書)で1年生に絵本の読み聞かせをしました。6年生の感想には『一生懸命(本を)選んだり、練習したりしたかいがあって、喜んでくれました。頑張って人を喜ばせることがとても楽しいんだな、と思いました。最後は感想も言ってくれて嬉しかったです。』とありました。

休み時間、学級や学年を越えて、子供たちと教員が鬼ごっこをしたり、長縄をしたりする姿や低学年同士の喧嘩を高学年の児童が仲裁する姿が見られます。異年齢の人間関係は、お互いに寛容であり緩やかで穏やかな関係なのかもしれません。

これからも『頑張って人を喜ばせることが楽しい』と感じられる子供たちを保護者、地域の方々と共に育んで参ります。